

1位は8年連続で「沖縄県」

国内ロングステイ人気都道府県



人気の高い沖縄（国際通り）

ロングステイ財団調べ

一般財団法人のロングステイ財団(船山龍二会長)はこのほど、「ロングステイに関する意識調査」の結果を発表した。それによると、14年はロングステイをしたい都道府県として「沖縄県」が1位に選ばれた。8年連続となる。

ロングステイ財団では、国内ロングステイの定義として、滞在期間1週間以上の「日本国内の他の地域で比較的長く、あるいは繰り返し滞在し、地域文化とのふれあいや住民との交流を深めながら滞在するライフスタイル」と定めて提唱している。調査は07年度から毎年実施している。

今回ランキングに入った都道府県に共通することは、①気候②環境がよい(交通、滞在施設、買い物などの利便性)③好きな地域ーが上位を占めた。

8年連続1位の沖縄県は、年間を通じて温暖な気候、豊富な自然と近年整備が進むさまざまなタイプの宿泊施設(コンドミニアムやサービスアパートメント、リゾート型ホテル)の充実、交通の利便性などが挙げられている。

調査は全国の不特定多数1060人に対して実施した。国内ロングステイについては、移住、引っ越しでないことを前提に、ロングステイに対する関心の有無、どの都道府県に興味を持っているのかなどを聞いた。

今回は「速報」としてロングステイ人気都道府県トップ10のランキングを発表。詳細については9月に発売を予定している「ロングステイ調査統計2015」で発表される。

昨年発刊の「ロングステイ調査統計2014」によると、国内ロングステイについての関心も依然高く、2%増と微増傾向にある。海外と国内の両方を検討している人も多いという。一方で滞在施設要件(キッチン付き、ウィークリー・マンズリーレート)などを満たす施設が少なく、実現に至らないことが考えられるとしている。

国内ロングステイ人気トップ10

順位	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県	沖縄県
2	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道
3	長野県	長野県	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府	京都府
4	京都府	静岡県	長野県	長野県	長野県	長野県	長野県	長野県
5	宮崎県	東京都	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県	東京都	東京都	東京都
7	鹿児島県	宮崎県	東京都	宮崎県	宮崎県	鹿児島県	福岡県	静岡県
8	高知県	神奈川県	宮崎県	高知県	高知県	静岡県	鹿児島県	神奈川県
9	神奈川県	鹿児島県	長崎県	東京都	長崎県	宮崎県	静岡県	宮崎県
10	愛媛県	兵庫県	高知県	福岡県	愛媛県	福岡県	宮崎県	鹿児島県

2位北海道、3位京都

調査データ

海外ロングステイ希望国トップ10

順位	1992	2000	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1	ハワイ	オーストラリア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア
2	カナダ	ハワイ	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	ハワイ	ハワイ	タイ	タイ	タイ	タイ
3	オーストラリア	ニュージーランド	タイ	タイ	ハワイ	オーストラリア	タイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
4	アメリカ西海岸	カナダ	ニュージーランド	ハワイ	タイ	タイ	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア
5	ニュージーランド	スペイン	ハワイ	ニュージーランド	ニュージーランド	ニュージーランド	カナダ	カナダ	ニュージーランド	ニュージーランド	カナダ
6	スイス	イギリス	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	ニュージーランド	ニュージーランド	カナダ	フィリピン	ニュージーランド
7	イギリス	スイス	スペイン	フィリピン	スペイン	フィリピン	フィリピン	インドネシア	フィリピン	シンガポール	シンガポール
8	フランス	イタリア	インドネシア	インドネシア	インドネシア	インドネシア	スペイン	フィリピン	シンガポール	アメリカ本土	アメリカ本土
9	スペイン	アメリカ西海岸	イギリス	スペイン	フィリピン	スペイン	インドネシア	台湾	インドネシア	カナダ	フィリピン
10	アメリカ東海岸	マレーシア	アメリカ本土	アメリカ本土	アメリカ本土	アメリカ本土	スイス	シンガポール	台湾	インドネシア	インドネシア

1位マレーシア、2位タイ

海外についてみると、ロングステイをしたい希望国として、14年は「マレーシア」が9年連続で1位に選ばれている。

調査は14年4月から15年3月までの間に、同財団が主催や後援したイベント、セミナーの参加者を対象としたアンケートを集計したもの。イベント・セミナー件数は延べ211回、参加者総数が2万1552人。収集したアンケートの有効回答数は3575枚となっている。

9年連続1位とマレーシアが安定した人気を保っている。受け入れのための査証プログラム「マレーシア・マイ・セカンドホームプログラム(MM2H)」制度の充実、気候、治安、医療水準の高さが背景にある。

ハワイ、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、アメリカ本土が昨年に引き続きランクインした。

2位のタイについては、政情が安定したことやLCC(格安航空会社)路線の充実も昨年以降拡大し、今後、希望国のニーズとしてさらに高まると予想される。タイは11年以来、4年連続2位となっている。